

電気透析および膜技術研究会シンポジウム「量子ビームで拓く荷電膜の未来  
ーガンマ線・電子線からイオンビームへの展開ー」のご案内

研究会代表 比嘉 充

電気透析および膜技術研究会では、下記の要領にてシンポジウムを開催します。  
ご参加くださいますようご案内申し上げます。

- 主 催：日本海水学会・電気透析および膜技術研究会  
共 催：公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団  
協 賛：化学工学会，高分子学会，電気化学会，日本イオン交換学会，日本海水学会  
西日本支部，日本化学会，日本原子力学会，日本膜学会，日本放射線化学会，  
ラドテック研究会，量子科学技術研究開発機構高崎量子応用研究所（50音順）  
日 時：2018年10月29日（月） 13：00～17：15（受付開始 12：45～，懇親会 17：45～）  
会 場：国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所  
生命科学棟1F 大会議室（〒370-1292 群馬県高崎市綿貫町1233）

<プログラム>

【講演会】 13：00～16：00

基調講演「放射線グラフト重合法による高機能イオン交換高分子材料の開発」

齋藤 恭一（千葉大学大学院工学研究科）

第1部 ガンマ線・電子線による革新的材料

講演1「わが国固有の塩作り「イオン交換膜製塩法」ー次世代イオン交換膜の開発ー」

永谷 剛（（公財）塩事業センター海水総合研究所）

講演2「膜技術と水素社会 ー膜分離新ISプロセス技術の開発ー」

稲垣 嘉之（日本原子力研究開発機構大洗研究所）

第2部 イオンビームによる新奇材料

講演3「高エネルギー重イオンビームによるナノ構造制御材料の研究」

澤田 真一（量子科学技術研究開発機構高崎量子応用研究所）

講演4「イオン飛跡グラフト重合法で作製したモザイク荷電膜」

垣花 百合子（山口大学大学院創成科学研究科）

【施設見学会】 16：00～17：15

【懇親会】 17：45～19：15（高崎駅近くの飲食店を予定）

参加費：3,000円（日本海水学会，電気透析および膜技術研究会，協賛団体の会員）  
6,000円（非会員），無料（電気透析および膜技術研究会の法人会員，学生）  
懇親会費：3,000円

問い合わせ先：〒755-8611 山口県宇部市常盤台 2-16-1

山口大学大学院創成科学研究科 垣花 百合子

電話：0836-85-9205，E-mail：kakahana@yamaguchi-u.ac.jp